

関西詩人協会会報

第98号
2020.7.1

発行者 左子真由美

①恒例のイベント講演・演奏・朗読の午後 ②紙上「詩画展」のお誘い、／運営委員・会計
監査改選のお願い ③御挨拶(代表・左子真由美)／新形コロナ感染症について／東京新聞記
事と詩「夜の森の桜」 ④新入会員の詩と自己紹介 畑章夫／藤原功一／HPエッセイ「不揃
いの湯呑み茶碗たちよ」北村真 ⑤ホームページ報告／運営委員会の模様第3回・第4回／入
退会住所変更 ⑥会員の活動／会員が発行または編集する詩誌／会員発行の詩書・詩書短評
(山田兼士)／今後の予定／団体の会報・図書／日本詩人クラブ関西大会中止のお知らせ

関西詩人協会イベント・2020

講演・演奏・朗読の午後

第一部 講演 薬師川虹一氏

翻訳苦勞ばなし

会場 ドーンセンター

日時 九月十三日(日)

午後一時三〇分(一時開場) ～五時

参加費 一、〇〇〇円

私の場合翻訳とは、英語の詩を日本語に翻訳する場合のことを言う。
詩の翻訳は横の文字を縦にするだけではない。元の詩の心を日本語で表現し
なければならぬのだ。勢い文法は時に無視される。ある時「利休鼠」と訳し
たことがある。「薄鼠色」ではびったり来ない感じなので、思い切ってやってみ
た。詩の翻訳は、ときに勇気がいる。

薬師川虹一氏プロフィール

一九二九年京都に生まれる。詩人、随筆家、
写真家、翻訳者(フリリップ・ラーキン、シェ
イマス・ヒーニー、テッド・ヒューズ、リジア
・シムクローテ等)、
英文学者(イギリス・ロマン派詩人の研究)、
同志社大学名誉教授、詩誌「RAVINE」前編集同
人。日本詩人クラブ名誉会員。日本バイロン協
会名誉会長。国際バイロン協会前理事。
受賞歴：京都芸術文化協会賞 日本翻訳家協会特別賞 瑞宝中綬章
出版書『詩集「疲れた犬のいる風景」 詩と写真集『石仏と語る』他
研究書『イギリスロマン派の研究』他



第二部 演奏

ソプラノ・喜多真美氏
ピアノ・柴田恭子氏

◆予定曲目◆

さびしいカシの木・ロマンチストの豚
いのちの歌・ユーレイズ ミニアップ他

喜多真美氏プロフィール

「ヘンゼルとグレーテル」のグレーテル、
オペレッタ「こうもり」のアデーレ役で
出演。大阪シンフォニカーと共演。日伊
ガラコンサートにおいて、G・ロールミ
氏、S・セッコ氏と共演。他各種コンサ
ートに出演。イギリスでヘレン・ヨーク
女史のマスタークラスを受講。また市民
ロビーコンサート、原田しろあと館コンサ
ートにも意欲的に取り組んでいる。イタ
リア音楽協会、神戸オペラカンパニー
会員。福祉施設等、地域の音楽活動



第三部 朗読グループ(ぼえむの森)の朗読

薬師川虹一氏の詩を詩集『石佛と遊ぶ』から
十篇余り朗読します

第四部 五行詩朗読

テーマ「コロナの時代を生きて」
1行24字以内、5行に纏めて
会報に同封します葉書で応募して下さい。

お願い
6月中旬現在は、9月のコロナの再燃状態が不明です。
急に中止になった場合は、「参加」希望のお葉書を下さった方
のみに連絡しますので、当日不明の方も「参加」としてお葉書
をください。

関西詩人協会 第30回記念詩画展

紙上「詩画展」への誘い

2020年度の詩画展(4月29日～5月17日)は、30回目の記念すべき詩画展でしたが、お知らせしましたように中止となりました。新型コロナウイルスの件で、今年の詩画展の展示開催は難しい状況です。このような状況を考え、以下の様に、冊子の紙上「詩画展」を計画しています。どうか紙上で、参加者とお会いしたく思います。

紙上「詩画展」参加 要項

*体裁; A5版(オールカラー)、中綴24ページ。

会報と同封する割付見本のように、1ページに、2人の作品掲載。

*作品: Jpgデータ(カメラまたはスキャナーで取り込んだ絵・写真または書)と共に、Wordファイルで、なるべく9ポイント26字詰め9行以内(タイトル・名前含む)。タイトル・名前と詩の間は、1行空き。

絵・写真または書と詩をメールに添付書類として、吉田または和比古宛までに送付して下さい。1人1点まで。郵送可ですが、不明のことがありましたら下記の電話等で吉田または和比古に御相談下さい。

*詩画展30年を振り返って(1ページ) 冊子の最後に、第一回の詩画展の担当者であった、原圭治氏が執筆。

*送付先: 吉田定一 refrancyo@yahoo.co.jp (TEL072-264-8443)

和比古 hirao@chem.eng.osaka-u.ac.jp (TEL0798-72-9308)

*参加人数: 36名限定です。先着順。参加者はまず、Eメールか電話でお名前とタイトルをお知らせ下さい。参加申込み時に、作品割付見本をメールで返信します。(郵送します。)

*参加費: 1,500円。

*作品締切: 2020年8月31日。

*冊子発行日: 10月。(「会報」に同封してお送りします。)

*発行部数・配布先: 300部。関西詩人協会全会員。 以上

詩画展担当 吉田定一・和比古・田村照視

関西詩人協会 皆様

運営委員・会計監査改選のお願い

本年11月の総会に先立ち、次期運営委員等の改選のための投票をお願い致します。

新運営委員等の任期は、本年の総会(11月22日予定)から2023年の総会までの、満三ヵ年です。

会員の皆さん、どうか棄権をせずに、投票して下さいようお願い致します。

記

1. 被選挙人は、関西詩人協会会員。(同封名簿及び注記参照のこと。)
2. 投票は、20名連記。(但し、投票に当たっては、20名未満の記入でも有効です。投票用紙は無記名ですが、封筒の発信元は記入してください。)
3. 会計監査は、1名です。
4. 投票締切は、7月31日(金)。(同日の消印有効)
5. 投票用紙の送り先は、同封の封筒で、選管委員長吉田定一宛をお願い致します。
※送料の84円切手は、ご協力をお願い致します。
6. 開票8月8日選挙管理委員と事務局長か総務が立ち合います。
7. 当選された方は委員会に入って一緒にやりましょう。
8. 2020年11月22日の2021年度の総会で承認されて後、活動開始となります。

関西詩人協会選挙管理委員会

委員長 吉田定一 委員 嗟峨京子

会員から委員 阪井達生 島 秀生 橋爪さち子

ご挨拶

新型コロナウイルスの嵐が吹き荒れておりましたが、ようやく少し落ち着いてきたようです。まだまだ油断は禁物ですが。



会員のみなさまはご無事でいらっしやいますでしょうか？心配しております。ご自身が罹患されずに済んだとしても、不要不急の外出を控えなければならぬとか、三密を避けなければならぬとか、何かと不自由で不安な毎日を過ごしておられることと思います。運営委員一同、心よりお見舞い申し上げます。会としても、詩話会、詩画展、文学散歩など多くの企画を中止せざるを得ませんでした。たいへん残念なことですが、これで終わるわけではありせんので、次回はもっと盛り上がるいい会にすべく力を注ぎたい所存です。そして、外出はできないにしても、私たちは「書く・表現する」ということができます。この時間も何かの試練と思ひ、コロナに負けず、おおいに書き、表現し、コロナが過ぎ去った未来へ向けて発信していきたいものです。どうか引き続き、お気を付けて、よい毎日をお過ごしください。またお目にかかれる日を楽しみにしております。

代表 左子真由美

新型コロナウイルス感染症について

疾患の原因はSARS-CoV-2と呼ばれるコロナウイルスで、中国の湖北省武漢市の武漢華南海鮮卸売市場で初めて同定された。流行の影響は全世界に及んだが、日本での最初の感染は1月16日であった。

感染しても無症状のまま経過することも多いが、発熱、咳、息切れ、味覚または嗅覚の異常、発熱、頭痛、咽頭痛などを伴うことがある。この感染症に対しては、ワクチンや特効のある抗ウイルス治療薬が現在存在せず、研究が進められている。

推奨されている予防策としては、手洗い、病気にかかっている人との距離を保つこと、さらに感染が疑われる場合には14日間の自己隔離および経過観察を取ることなどが挙げられる。以後、日本での経過です。

2月20日、イベント主催者に不要不急を避けるよう要請。

3月2日から学校総て一斉休校を要請した。

3月13日 改正新型インフルエンザ等対策特別措置法成立。

3月24日 東京オリンピック一年延期となる

4月7日 大阪・兵庫・京都など7都道府県に緊急事態宣言発令。

4月16日 政府が全国に緊急事態宣言を拡大。

5月15日 緊急事態宣言は北海道、千葉、埼玉、東京、神奈川県、京都、大阪、兵庫、を除いた各県で解除された。

5月23日 大阪・兵庫・京都でも緊急事態宣言が解除された

5月25日 日本全土での緊急事態宣言解除

6月1日 学校授業再開。ライブハウスやスポーツジム、バーなどクラスター(感染者集団)が発生した施設への休業要請を全面解除。

東京新聞4月30日記事より 東京電力福島第一原発事故による避難指示が三月十日に一部で解除された福島県富岡町のJR常磐線夜ノ森駅周辺は、桜の名所として知られる。新型コロナウイルスの感染拡大の影響で外出自粛ムードとなっていた四月六日、満開となった桜の木の下で一人の女性と出会った。後日送られた詩を紹介する

夜の森のさくら

奥村和子

夜の森という

ふしぎな名の町へ来た

四百数本のソメイヨシノが二・二キロにわたって

さきほこる さくらのクニのめでたさよ

ピンクの天蓋の下でわたしは夢をみた

九年前の町の人の暮らし

ボール蹴りする子どもたちの歓声

犬とおさんぽする退職後のおとうさん

町の健康増進センターで体力づくりするおばあさん

おしゃれな奥様は美容院へ

人々のさりげない日常があった

駅前には理想郷というゲームセンターもある

清澄な北国の青空を埋める

さくらのはなやぎ

夢からさめたわたしは 現の町にいる

いたるところ「この先帰還困難区域につき通行止め」の立て看板

はらはらとさくら散る沈黙の町

ベランダと窓の花瓶の 瀟洒な家や

庭の愛車を放りすて逃げた人々

原発二十キロ以内避難命令の下りた

時が止まっている

万葉のさくら咲く

黒々とねじれた太い幹の下の地中には

このクニの桜鬼どもがうごめいている

新入会員の紹介

置き去り

吸い殻や竹串が
足元に散らばるガード下の酒場
頭の上を
満員電車が通過する
少し離れたところの戦災慰霊碑
隅で半開きのビニール傘が
寄りかかる

畑 章夫

急な雨に広げられた
一本五百円は

雨がやめば置き去りで
骨の何本かは折れ曲がり
いつのまにか 消える

ビールの泡が揺れる
暗いところで
骨が光る



自己紹介

畑 章夫 (はた あきお)

今春『猫の平和』を上梓しました。詩界に飛び込んだような気持ちです。日々の暮らしかから、世界に広がる詩を書きたいと思っています。

住所 535-0001

大阪市旭区太子橋3-2-5-312

メールアドレス akipwind@gmail.com

ゆれる

ゆらり ゆらりとゆれる

立ち上がってゆれて

座ってゆれて

寝てもゆれて

こころもゆらりとゆれる

人びとのつぶやきを

手のひらにのせて

ぼんやりと見つめていると

ふと気が付いたのです

人と話をしていない

自分があることに

ゆらり ゆらりとゆれている

命の秤がゆれている

自己紹介

藤原功一 (ふじわら こういち)

二〇代前後の頃文学が好きで、特に詩に興味がありました。その後は文学的なものは離れておりました。約二年半前に仕事もひと段落しましたので、心のマグマを表現したいと思い、詩作を始めております。

住所 583-0864

羽曳野市羽曳が丘9丁目22-7



藤原功一

不揃いの湯呑み茶碗たちよ

(関西詩人協会HPより転載)

北村 真

京都の「ほんやら洞」が全焼した朝は、よく覚えてる。幾人かの懐かしい友人から動画付きのメールが届いた。出火時間は午前4時ごろ、私は寝ていたが、スマホ撮影された動画が拡散され、朝のニュースはそれを繰り返し放映した。木造建ての二階、三方の本棚の壁に、積み上げられた本が、燃えているのだらう、異様なくらい太く激しい炎が窓から吹き出ている。すでに消火を終えたはずなのに、目の前で起こっているような、錯覚を起こす。何かを助け出さなくてはと思うのだが、何を持ち出せばいいのかかわからない。悲しみと虚無感に襲われながら、その時、なぜか、冷静に「ほんやら洞」で過ごした最後の日のことがよみがえってきたのだ。

「ほんやら洞」は、1972年、岡林信康らミュージシャン、文化人、市民たちの手で開店した。2階スペースでは、文化人らのミーティング、若い画家たちの個展、ライブ、映画会などが、連日、行われたという。有馬敏さんらオーラル派と呼ばれる詩人たちが集まり、詩の朗読会も行われたとも聞く。伝聞調で描いているのは、そのイベントに一度も居合わせたことがないにもかかわらず、強い関心と憧れを抱いて、「ほんやら洞」で珈琲を飲んで過ごしたことのある「遅れてきた世代」の、私もその一人だからである。

最後に訪ねたのは、火事の前年の12月である。午後の半日、二階を貸し切り、同人誌「冊」の合評会を行った。名古屋や東京に住む同人たちと、京都で合評したのは初めてであった。店長で写真家の甲斐さんのブログ「カイ日乗」の、2014.12/6(土)の記録として、「2F、13人の読書会」と記されているのを、後で知った。

同志社大学構内の「ユンドンジュの詩碑」を訪ねた後、子育てで遅れてくる若い同人を、二階で待っていた。大きなごっこつした木のテーブル。三方の壁に取り付けられた本棚。無造作に並べられたチラシや写真集。うずたかく積まれた本。床の片隅には、マイクスタンドやスピーカーにつながれたままのコードが這っている。(5頁へ)

思い思いの場所で、それぞれのページをめくったり、それぞれの会話を楽しんでいた。

しばらくして、ぎしぎしと木の板をきしませながら、ガチャガチャと瀬戸物がぶつかる音が階段の下から聞こえてきた。カレーとたばこと珈琲のにおいのする暗闇から、パントマイムのようにゆっくり若い女性が、湯飲みを盛った大きな二つのお盆を、両手にのせて登場したのだ。そして、大きな樹のテーブルに、お茶の入った十三個の瀬戸物を並べたのだ。その手慣れた振る舞いや温かいほうじ茶に感激したが、なにより、湯呑み茶碗のそれぞれ形や模様や大きさが微妙に異なっている、そのありように驚かされた。どこか、陶器市で、適当に買い込んでそのまま出したような無骨さで、しかも、それが暮らしの中に溶け込んだ自然さとともに運ばれてきたのだ。

ほんやら洞の火事は、2015年1月16日の朝だった。すでに、5年たった。日常の中の哀しきにあっても、行き先の見えない不穏な非日常にあっても、ときどき、あの日の「ほんやら洞」の「不揃いの湯呑み茶碗たち」を思い出すことがある。何かが終わりを消えていくときに、かならず残されてゆくものがあるとしたら、「ほんやら洞」が私に残してくれたのは、いや、私が受け取ったものは、その「ガチャガチャと音を立てぶつかり合いながら、闇をくぐろうとする不揃いの湯呑み茶碗たち」の姿なのだと思う。

(このコーナーは、間もなく会員の皆様に御願います。ことになりまますので、どうぞよろしく)

《入退会住所変更》

- 入会 藤原功一、畑章夫
- 退会 細川治男、神田好能、青木はるみ、おしだとしこ
- 住所変更 志田 恵

ホームページ報告

《会員の詩》三篇 (5月1日～7月31日)
 北口汀子「鬼の棲む街」
 原田 慶「風草」
 諸行 響「黄色いリボン」
 《会員のエッセイ》
 田島廣子「子育てと仕事」(4月1日～4月30日)
 北村 真「不揃いの湯飲み茶碗たち」(5月1日～5月31日)
 間もなく会員の方にパトタッチ
 《会員の活動》
 「2019年・関西詩人協会冬の詩画展」報告 (文責・松村)

運営委員会の模様

2020年度 第3回関西詩人協会

新型コロナウイルスの非常事態宣言を受けて今回はネット上での進行になった。

日時・2020年4月18日(日) 10時

メール討論参加者 市原・岩井・和比古・北村・榊齊藤・嵯峨・左子・高丸・田島・永井・松村・吉田

一任 奥村・藤谷

不参加者 田村・中西・名古・村田・山田・横田

議事進行 永井

代表挨拶 左子 イベントが中止になった分の還元を考慮したい

議題

- ①入退会報告(奥村・嵯峨・横田)入会者2名 退会者2名 現在会員数249名
- ②会計報告(岩井)承認
- ③ホームページ(松村・田島)エッセイを一般会員に依頼
- ④詩画展中止の為紙上詩画展に決定 詳細は後日連絡(吉田・和比古・田村)
- ⑤詩話会 図書館閉鎖の為中止(藤谷・高丸)
- ⑥文学散歩延期 コロナ解消時に日時決定(永井・北村)
- ⑦詩のイベント9月13日ドーンセンター。6月20日の運営委員会にて開催可否かを決定 詳細は会報にあり(神・市原・中西)
- ⑧選挙の改選 詳細は会報にあり(委員長 吉田)
- ⑨その他(北村)コロナをテーマとするアンソロジー発行の提案があったが、9月のイベントを中止になった場合に実行するので下準備をしておくこと。

第4回関西詩人協会運営委員会

日時・6月20日(土) 場所…大阪国労会館第一会議室

出席者 左子・永井・北村・名古・岩井・市原・奥村・嵯峨・田島・吉田・榊・藤谷・松村

欠席者 和比古・斎藤・中西

高丸・田村・村田・山田・横田

議事進行 (北村)

代表挨拶 (左子) 緊急事態宣言も解除されこうして集まれるようになったのは本当によかったと思います。

①入退会報告(奥村・嵯峨) 現在会員数247名

入会者0 退会者2名(青木はるみ・おしだとしこ)

②9月イベントについて(神・市原) チラシの様に準備を進めている。三密を避ける為90名の会場で45名程度に。

③会計報告(岩井) 延滞の会費の支払いがあった事と文学散歩・詩画展・詩話会の中で少し会計に余裕があった。

④ホームページ(松村・田島)《会員の詩》《会員のエッセイ》順調に進展《会員の活動》は報告コロナの為か少なかった。

⑤会報(永井) 7月2日に竹林館で発送作業をします。

⑥詩の広場(名古) 会に参加できない人達のためにも続行して欲しいと要請。

⑦運営委員会選挙について(吉田・嵯峨) 詳細2頁

⑧次期総会 二月28日(日) キヤスルホテル 講演 伊良子序氏(予定) テーマ「映画と詩」(仮)

⑨紙上詩画展募集について 詳細2頁

⑩関西詩人協会「コロナアンソロジー2020」(仮)の発行

この「コロナウイルス蔓延」という状況下に関西詩人協会として発信をすることに意味があるのではないかと発言があり、参加委員の賛同を得た。募集要項は会報記事として

は入らないので、会報と同封する。実行委員長北村、委員

神・市原・中西・永井 (書記 藤谷)



会員の活動

あたるしましゅうご・中島省吾氏・詩集『入所待ち』地元の新聞「せんしゅう」4月号で紹介される。

有馬敏氏・日本現代詩人会会報158号にエッセイ「松本一哉さんを悼む」が掲載される。

小松原恵子氏・日本国際水彩画展・第三次公募展で水彩画「散歩道」が入選した。

《会員発行の詩書》

小野田潮 詩集『あかるい部屋のなかで』舷燈社

加納由将 詩集『記憶のしずく』思潮社

長岡紀子 詩集『タンバリン打ち鳴らし踊れ』竹林館

中尾彰秀CD『ひふみよいインまつむし音楽堂』『ひふみよいイン木村屋』森羅通信

【詩書短評 山田兼士】

○原圭治エッセイ集『詩の希望、詩の旅』（竹林館）

今年米寿を迎える関西の詩人が約50年にわたって書き継いできたエッセイを一冊にまとめた。1970年の詩的狀況論から現在まで、内容は多彩だ。小野十三郎、金時鐘、井上俊夫、東渕修、島田陽子、福中都生子、有馬敏、日高てる等についての考察は文学史的に見て貴重。

○畑章夫『猫的平和』（草原詩社）第3詩集30篇。

初老に差し掛かった男の日常と過去に題材を取った生活詩だが、その日常は微妙に震え焦点をずらしているかのようだ。大阪の空襲、戦後闇市などの記憶を追体験しながら脱出への夢と挫折を繰り返し体験してきた生活者の最後の旅、詩への旅が描かれている。

○神田さよ『海のほつれ』（思潮社）

1948年生まれの詩人による32篇。阪神淡路大震災の体験に東日本大震災を重ねることで災厄と人生の絡み合いを複合的に描き出した。不気味な物語風寓意詩など幻想への志向も深く探求され、息詰まるような緊張感をはらんでいるのが特徴。過去への遡及もまた切実だ。

○野口幸雄『おもちゃの馬』（澤標）

1948年生まれの著者第2詩集23篇。日常生活を扱った作品が中心だが、ふとした感慨や追憶が切ない心情を自然に表出し、時に自然体のユーモアが読者をなごませる。阪神淡路大震災から四半世紀を経た体験談も軽やかさをともなった深刻さを表現していて秀逸。

○熊井三郎『ベント 風に乗って』（竹林館）

第2詩集37篇。関西テイストのユーモアを身上とするが、いくぶんホラーなアイロニーにも欠けていない。社会批評、時代風刺が、声高でなく、だが痛烈な響きを伴って詩句の狭間から漏れ出ているといった趣きだ。一見軽快で磊落だが実は切実な反戦詩でもある。

《会員が発行または編集する詩誌》

100円詩集9号	熊井三郎
アリゼ118号	以倉紘平
異郷52号	村上久雄
K A I G A 113号	原口健次
伽羅21号	吉田定一
銀河詩手帖299号	近藤摩耶
現代詩神戸 269号	永井まゆみ
呼吸148号	司由圭
軸135号	原小林
新療原34号	関中
小さな森19	もりたひら
はなたちばな創刊号	和比古
遥 1号	水崎野里
PANDORA V	子真由美
PO177号	香山雅代
Messier 55号	牧田久未
RAVINE 209号	横田英子
リヴィエール170号	

《今後の予定》

EARTH POEM PROJECT44

詩の朗読を中心にピアノインプロ。

場所 音楽文化堂 073・422・3562

日時 7月12日(日)午後2〜4時

入場料 千円

連絡先 中尾彰秀

詩を朗読する詩人の会『風』

日時 7月19日 午後2時30分

場所 丸山珈琲倶楽部 南森町3番出口すぐ向かい

ゲスト 播磨カナコさん

8月休み

9月20日も同所で開催予定です。ゲスト未定

連絡先 中尾彰秀

（一社）日本詩人クラブ 創立70周年記念関西大会 中止のお知らせ

8月8日に延期決定した、日本詩人クラブ関西大会を、コロナウイルス感染拡大防止のため、中止致します。ご理解の程よろしくお願い致します。

問い合わせ・神田さよ

「ボエム風フェスティバル2020」のお知らせ

「詩を朗読する詩人の会『風』」は、昭和49（1974）年2月2日に、大阪梅田新道のクラシック喫茶「日響」で誕生して以来、創立46年目にあたります。毎月第三日曜日に開催しております例会も511回を越えました。

五〇回目に最初の『アンソロジー風』を刊行し、百回からは「ボエム風フェスティバル」と題したイベントをも行うようになりました。

平成8（1996）年には「風」賞を制定いたしました。こうして私たちは朗読を通じて詩人と詩人、あるいは詩の愛好者とがつどい、詩を愛する者の場を積み重ね、アンソロジーによって詩の輪を全国に広げてまいりました。

詩は心です。心を広げ、人を愛するのが詩です。そして文学の初心です。私たちは今後ともこの心を大事にして、朗読会活動、アンソロジー刊行、「風」賞やイベント開催を続けてまいります。

出版記念会および風賞授賞式を行います。今から予定していただき、ぜひみなさま多数ご参加くださいませ。

日時…10月18日(日)

場所…大阪キャッスルホテル7階

（コロナ蔓延の影響により、その他の詳細は未決定です。決定し次第お知らせいたします。）

連絡先 左子真由美

《団体の会報・図書》

岩手県詩人クラブ会報 皿96号

大分県詩人協会 会報156号

大分県詩人連盟 いちご通信26号

鹿児島県詩人連盟 第23集

熊本県詩人会 熊本県詩集2019 15集

岐阜県詩人会 会報14号

高知詩の会通信22号

埼玉詩人会会報92号

島根県詩人連合会 会報88号

日本詩人クラブ 詩界通信90号

日本現代詩人会会報158

福岡県詩人会 会報102号

福岡県詩人会 会報176号

福岡県詩人会 会報176号

福岡県詩人会 会報176号

福岡県詩人会 会報176号

福岡県詩人会 会報176号

福岡県詩人会 会報176号

福岡県詩人会 会報176号

福岡県詩人会 会報176号